

風をあつめて

みぶ

2011

12

No.631



主な内容

- 自治功労者表彰式4
- 壬生町消防団通常点検5

平成23年度上半期

町の財政状況報告

(平成23年9月30日現在)



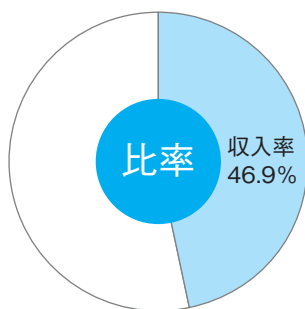
町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金などのように使われているかを知っていただくため、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回（広報壬生6月・12月号）財政状況を公表しています。今回は、平成23年度上半期（平成23年4月1日から9月30日）の収入と支出の状況等についてお知らせします。

平成23年度一般会計当初予算額は121億7千万円でしたが、その後2回の補正を行い、9月30日現在の予算額は126億9,975万4千円となりました。また特別会計についても、国民健康保険、公共下水道事業、農業集落排水事業でそれぞれ1回の補正を行っています。

一般会計

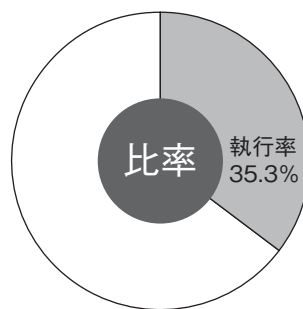
予算総額 126億9,975万4千円

歳入



科目	収入済額 59億5,835万5千円 (収入率46.9%)	(単位: 億)
町税	46億1,561万5千円	27億572万9千円
地方譲与税	1億5,000万1千円	4,855万3千円
利子割交付金	1,000万円	443万9千円
配当割交付金	300万円	253万6千円
株式等譲渡所得割交付金	200万円	
地方消費税交付金	3億4,000万円	1億9,953万4千円
ゴルフ場利用税交付金	3,200万円	1,134万8千円
自動車取得税交付金	4,000万円	975万7千円
地方特例交付金	5,698万6千円	5,698万6千円
地方交付税	21億9,438万5千円	15億6,487万1千円
交通安全対策特別交付金	600万円	354万4千円
分担金及び負担金	1億5,995万2千円	6,678万4千円
使用料及び手数料	2億9,741万4千円	1億6,130万7千円
国庫支出金	13億818万1千円	5億2,507万2千円
県支出金	9億2,066万6千円	8,269万8千円
財産収入	1,441万円	1,628万3千円
寄附金	183万2千円	235万1千円
繰入金	6億3,042万9千円	
繰越金	5億2,313万7千円	4億8,496万9千円
諸収入	4億9,274万6千円	1,159万4千円
町債	9億500万円	

歳出



科目	執行額 44億8,029万9千円 (収入率35.3%)	(単位: 億)
議会費	1億6,204万円	9,170万2千円
総務費	15億1,364万1千円	6億123万1千円
民生費	41億6,475万4千円	
衛生費	12億5,295万7千円	9億9,277万4千円
労働費	9億9,277万4千円	3億2,076万8千円
農林水産業費	9万1千円	8万8千円
商工費	3億9,585万4千円	7,810万1千円
土木費	8億4,395万円	5億5,536万6千円
消防費	17億1,937万7千円	3億2,626万9千円
教育費	5億8,439万8千円	2億7,368万4千円
災害復旧費	13億6,051万7千円	5億3,316万6千円
公債費	5億3,316万6千円	3,649万5千円
諸支出金	636万3千円	
予備費	9億586万円	4億4,060万4千円

特別会計

国民健康保険特別会計

予算額	47億4,335万5千円
収入済額	18億8,511万8千円 39.7%
支出済額	18億4,900万8千円 39.0%

公共下水道事業特別会計

予算額	11億5,012万5千円
収入済額	1億8,908万円 16.4%
支出済額	4億4,900万9千円 39.0%

奨学資金特別会計

予算額	170万円
収入済額	168万3千円 99.0%
支出済額	130万円 76.5%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

介護保険事業特別会計

予算額	21億9,176万6千円
収入済額	8億999万5千円 37.0%
支出済額	8億4,309万円 38.5%

農業集落排水事業特別会計

予算額	4億2,869万5千円
収入済額	3,484万5千円 8.1%
支出済額	1億2,985万2千円 30.3%

後期高齢者医療特別会計

予算額	2億7,624万5千円
収入済額	1億131万5千円 36.7%
支出済額	1億322万5千円 37.4%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

水道事業会計

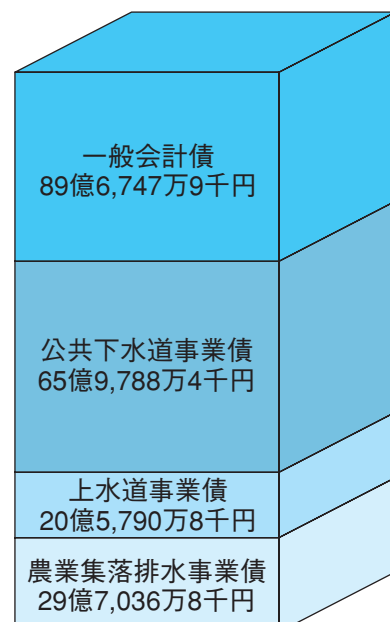
※資本的収支の収入額が支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

収益的収支		資本的収支	
収入予算額	5億7,916万7千円	収入予算額	3億1,271万9千円
収入済額	2億92万5千円	収入済額	0円
支出予算額	4億4,361万2千円	支出予算額	5億9,084万5千円
支出済額	1億1,263万2千円	支出済額	1億6,530万3千円

町税の内訳

	予算現額	収入済額
町民税	20億1,058万6千円	8億6,492万2千円
固定資産税	20億7,378万2千円	15億59万5千円
軽自動車税	6,179万9千円	6,111万2千円
町たばこ税	2億600万円	1億3,356万1千円
都市計画税	2億6,344万8千円	1億4,553万9千円
合計	46億1,561万5千円	27億572万9千円

地方債現在高



税の負担状況

(単位: 円)

	町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
一人当たり 68,759円	21,980	38,134	1,553	3,394	3,698
1世帯当たり 187,429円	59,914	103,948	4,233	9,252	10,082

(平成23年9月末現在 人口: 39,351人 / 世帯数: 14,436世帯)

町発展への功労・功績をたたえ 自治功労者を表彰

永年にわたり、町政の推進、福祉の増進及び教育・文化の振興等で多大な功績を残された方々を称え、「平成23年度壬生町自治功労者表彰式」が、11月4日（金）に役場正庁で行われました。

今年は、特別功労賞受賞者1名の方を含む15名の方々が受賞されました。



受賞者（敬称略）（50音順）

特別功労賞

○12年以上選挙管理委員会委員の職にあった方……………吉田 忠雄

功 労 賞

○15年以上福祉委員の職にあった方……………小林キミ子 柏崎美代子
栄松 澄子

○20年以上国又は県からの委嘱による非常勤の
特別職にあって功績があったと認められる方……………大久保信男

○前後職を異にし通算により対象となる方……………市川 義夫 臼井 繁
坂田 昇一 神長 伸

○20年以上町職員として勤務し、成績優れ功績が
あったと認められる年齢50歳以上の方……………石村 進 鈴木平八郎
長 恵子 若林 房司

徳 行 賞

○町へ100万円以上の金品の寄付をされた方……………大栗 健彦 壬生ロータリークラブ

壬生町消防団通常点検が

行われました

壬生町消防団（関本和夫団長 以下203名）による壬生町消防団通常点検が、11月23日、町総合運動場で実施されました。

消防関係殉職者に対し黙祷を捧げた後、多数の御来賓臨席のもと、人員並びに服装点検、機械器具点検、（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（自主防災育成）による宝くじの普及広報事業の助成を受けて整備された消防用ホースを使用したポンプ操法及び放水点検が実施されました。

点検の後、小菅一弥町長より講評が行われ、続いて、多年にわたり勤続した団員や、退団者、消防業務協力者などの表彰が行われました。

その後、蘭学通りに場所を移し多くの人が見守る中、消防団本部役員、消防団員、消防団車両、石橋地区消防組合消防車両等による分列行進が行われました。行進の先頭では、しもだい保育園の園児たちが纏や火災予防の小旗などを掲げながら行進をし、分列行進に華を添えていました。また、分列行進後には役場駐車場において、消防車両の展示や放水体験、はしご車の乗車体験ができる消防フェアが行われ、たくさんの方の家族連れでにぎわいました。



平成23年度通常点検表彰者名簿（敬称略）

模範消防団員知事表彰

◎知事表彰
第1分団分団長 戸崎 勝巳

栃木県消防協会会長表彰

◎勤続章 10年

第1分団副分団長 田中 久
第3分団第1部部長 刀川 治久
第3分団第4部部長 白井 康之
第3分団第4部部長 西村 健一
第3分団第4部部長 中島 巖

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

◎功績章 8年

第2分団分団長 鈴木 宏幸
第3分団第1部部長 大久保 吉展
第1分団第1部部長 日永 正太
第1分団第3部部長 岡 裕己

◎勤続章 5年

第2分団第1部部長 渡辺 泰成
第2分団第3部部長 神永 篤
第3分団第2部部長 廣澤 知宜
第2分団第1部部長 琴寄 重雄
第2分団第3部部長 石川 辰徳
第1分団第1部部長 石井 隆行
第1分団第2部部長 篠原 喜明
第1分団第2部部長 林 良雄
第1分団第2部部長 黒川 裕正
第1分団第2部部長 井上 雅人
第1分団第2部部長 青木 和元
第1分団第2部部長 荒川 宏一
第1分団第3部部長 荒川 俊一
第1分団第4部部長 高橋 功一

第1分団第4部部長 黒川 和也

第1分団第4部部長 須藤 孝幸

第2分団第1部部長 阿久津 英明

第2分団第2部部長 高木 哲郎

第2分団第2部部長 高木 敦史

第2分団第2部部長 増山 克彦

第2分団第2部部長 栗原 智美

第3分団第1部部長 黒澤 勇矢

第3分団第1部部長 藤田 智也

第3分団第2部部長 大塚 竜太

第3分団第3部部長 手塚 賢太郎

第3分団第3部部長 中村 仁

第3分団第4部部長 渡邊 徹

第3分団第5部部長 遠藤 宏紀

第3分団第5部部長 山田 武志

◎優良部

第1分団第5部 第3分団第1部

壬生町長表彰

◎勤続章 10年

栃木県消防協会会長表彰と同じ

◎勤続章 5年

栃木県消防協会下都賀支部長表彰と同じ

◎優良部

消防ポンプ自動車の部

第1分団第1部 第3分団第1部

小型動力ポンプの部

第1分団第5部 第2分団第5部

◎努力部

消防ポンプ自動車の部

第3分団第5部

小型動力ポンプの部

第3分団第4部

感謝状贈呈

◎平成22年度退団者

岡部 豊作 他33名

◎消防業務協力者

馬場自治会

伊藤 博

伊藤 信良

渡邊 清

梁島 進

萩谷 ノブ

副分団長 田中 久

部長 刀川 治久

部長 白井 康之

部長 西村 健一

班長 中島 巖

団員 令夫人 由香

令夫人 美智子

令夫人 美咲子

令夫人 恵美子

令夫人 美智子

令夫人 文子

令夫人 由香



第3次審査(中央審査)で3人が入選

明るい選挙啓発運動の一助とするため、全国の児童生徒のみなさんを対象とした「第63回明るい選挙啓発ポスターコンクール」が行われました。

県内の小・中・高生から、総数2,540点の作品が寄せられ、第1次審査(市町村単位)を通過した、580点が第2次審査(県)に出品されました。

本町においても131点にのぼる作品の応募があり、その中から優秀作品として第2次審査推薦作品20点が選ばれました。

第2次審査の結果、本町では、優秀賞に3点、入選に3点、佳作に5点の計11点が選ばれ、更に優秀賞受賞作品は、第3次審査(中央審査)に出品され、入選するというすばらしい成績をあげました。

審査結果は、次のとおりです。

◎第3次審査(中央審査)入選



さとう ももか
佐藤 萌々香 (壬生小6年)



てらうち りか
寺内 梨香 (藤井小6年)



たにぐち そういち
谷口 創一 (壬生中1年)

◎第2次審査(県)入賞

- | | |
|----|-------------------------------|
| 入選 | ふじ なら み の り
藤原実乃里 (壬生東小6年) |
| 〃 | かね た く み こ
金田紅美子 (壬生中3年) |
| 〃 | ふく と み ゆう と
福富 祐斗 (南犬飼中3年) |
| 佳作 | ひと み さ き
人見 紗生 (壬生小6年) |
| 〃 | くら も ち と も み
倉持 友美 (壬生中3年) |
| 〃 | さとう み ほ な
佐藤美帆奈 (〃) |
| 〃 | ちば あや か
千葉 絢加 (南犬飼中2年) |
| 〃 | くめ あずさ
糸川 梓 (南犬飼中3年) |

◎第1次審査(町)入選

- | |
|-----------------------------|
| ふさ ま な み
甫坂真奈美 (壬生小5年) |
| あお やぎ のぞみ
青柳 希 (壬生東小2年) |
| かめ たか ふみ
亀田 貴文 (壬生北小5年) |
| いし かわ たい ち
石川 泰地 (壬生中1年) |
| うす い ゆう き
臼井 悠記 (南犬飼中3年) |

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| うす い
臼井 優来 (藤井小4年) | ゆ な
優来 (藤井小4年) |
| おづ ゆう き
尾津 裕紀 (壬生東小5年) | ゆ き
裕紀 (壬生東小5年) |
| なか やま ひろ き
中山 裕喜 (安塚小6年) | ひろ き
裕喜 (安塚小6年) |
| おお しま ゆい
大島 唯 (壬生中3年) | ゆい
唯 (壬生中3年) |

税を考える週間

(11月11日～17日)

納税の推進に関するポスター標語を展示

町では、町内の小・中学校から募集しました「納税に関するポスター標語」を、「税を考える週間」(11月11日から17日)に合わせて、役場町民生活課窓口前の町民ホールに展示しました。

これは、次代を担う児童・生徒が夏休み期間中に「納税に関するポスター標語」を作成することにより、家族みんなで税について考え、税についてより関心と理解を深めていただこうと、町内の小学6年生と中学2年生を対象に毎年実施しています。

今年も総数672点の作品が応募され、最優秀賞2点、優秀賞10点及び佳作28点を表彰し、その中から最優秀賞及び優秀賞12点を展示したものです。



最優秀賞 小学生の部 壬生東小6年 藤原 実乃里

◆最優秀賞
藤原 実乃里 (壬生東小6年)

◆優秀賞
佐藤 萌々香 (壬生小6年)
越谷 巴香 (壬生東小6年)
筒井 菜緒 (壬生東小6年)
佐藤 安業 (陸小6年)
森田 実希 (壬生北小6年)

小学生の部



最優秀賞 中学生の部 南犬飼中2年 森田 有加里

◆最優秀賞
森田 有加里 (南犬飼中2年)

◆優秀賞
小林 久乃 (壬生中2年)
杉山 碧思 (壬生中2年)
寺内 紳悟 (壬生中2年)
山崎 さくら (壬生中2年)
江田 愛佳里 (南犬飼中2年)

中学生の部

第27回みぶ文化教室
壬生町自殺対策啓発事業

「東 ちづる」講演会開催



11月12日、壬生中央公民館大ホールにおいて、第27回みぶ文化教室として壬生町自殺対策啓発のための講演会が開催されました。

これは、栃木県地域自殺対策緊急強化事業費補助事業として実施されたもので、プライベートで各種ボランティア活動を幅広く続けられている女優の東ちづるさんを招き開催しました。「心豊かに自分らしく生きる」をテーマに、瀬戸内海の島に住む少年との交流や全国で開催しているチャリティー絵画活動などの体験を通して、人と人とのつながりの大切さについて話されました。

自殺予防対策は、個人的な問題としてとらえるのではなく、社会的な取り組みとしてとらえ、広く地域社会に自殺やその要因となるうつ病などの精神疾患について、正しく理解することが大切であると言われていいます。家庭、地域社会が一体となり、心の健康、生きることの大切さ等について考え、生きがいのある人生を過ごす一助となる講演会でした。



第24回全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレク“エコとちぎ”2011

11月6日、壬生町総合運動場体育館において、第24回全国スポーツ・レクリエーション祭スポレク“エコとちぎ”2011 スポーツチャンバラ大会が開催されました。幼児から一般まで1都9県から166名の選手が参加し、基本動作、個人戦（小太刀、長剣フリー、異種）、団体戦で熱戦が繰り広げられました。

また、壬生町総合運動場グラウンドにおいて、第19回壬生町レクリエーション大会が同時開催され、全国スポレク祭の関係者も参加して、輪投げ、ダーツ、ベーゴマなど12種目のニュースポーツを体験し、最後にイワナつかみで大盛況の大会が終了しました。

第19回レクリエーション大会



第8回みぶっ子ドッジボール大会

10月23日、町総合運動場体育館において、第8回みぶっ子ドッジボール大会（主催…壬生町子ども会育成会連絡協議会・壬生町教育委員会）が開催されました。

今年は小学年の部（小学校1～3年生）8チーム92名、小学年の部（小学校4～6年生）8チーム87名が参加し、熱戦が繰り広げられました。



栃木県小学生ソフトボール新人大会優勝報告

10月29日、11月3・5日、宇都宮市の柳田緑地公園で開催された第25回栃木県小学生ソフトボール新人大会において、「鹿沼ベリーズ」が見事優勝し、所属メンバーである壬生小学校の秋澤佑奈さん、斉藤来未さん、稲葉小の中島咲月さん、梁島綾乃さんが、優勝の喜びを報告に町長室を訪れました。

鹿沼ベリーズは、平成24年3月30日に群馬県で開催される第5回春季全日本小学生女子ソフトボール大会に出場されますので、応援よろしくお願いします！



28th MIBU TENNIS大会

〔10月16日 町総合運動場テニスコート 参加者32名〕

成績

●一般男子ダブルス

優勝 高山禎唯・中村公星

準優勝 池田侑史・田中宏輝

●一般女子ダブルス

優勝 山口キヌ子・高橋洋子

準優勝 糸川直美・柊木卓子

●60歳以上男子ダブルス

優勝 名坂秀夫・木村政司

準優勝 野中裕二・稲見英明



写真左より 山口さん、高橋さん、糸川さん、柊木さん



写真左より 高山さん、中村さん、池田さん、田中さん



写真左より 名坂さん、木村さん、野中さん、稲見さん

28th MIBU バドミントン大会

〔11月13日 町総合運動場体育館 参加者48名〕

成績

●男子A

優勝 織田・関 組 第3位 村島・金田 組

準優勝 上野・平石 組

●混合

優勝 稲葉・坂田 組 第3位 賀長・稲葉 組

準優勝 浦山・植木 組

●女子A

優勝 笹井・岩本 組

準優勝 藤江・袖山 組 第3位 若林・高野 組

準優勝 吉田・山崎 組 第3位 石塚・中嶋 組



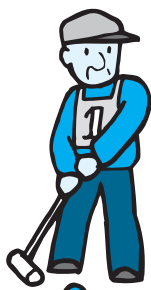
優勝者のみなさん

栃木県民スポーツ大会で好成績！

10月16・23日、県内各地で県民スポーツ大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。

壬生町は13種目に151名が出場し、ゲートボールが優勝、弓道が準優勝、バドミントン、ソフトテニス、テニスが第3位に入賞しました。

ゲートボールは2年ぶりに優勝を果たし、喜びに沸いていました。



空手拳法選手権大会入賞

11月6日、茨城県取手市で開催された「第15回NPO法人実武道会館オープン空手拳法選手権大会」において、組手の部に川田塾（代表川田恵一・安塚）から8名の選手が出場し、優勝1名、第3位2名のすばらしい成績を残しました。本大会は、オープントーナメント制で県内外から200名が出場し、熱戦が繰り広げられました。



◆優勝 (小学4年の部) 川田佳那子 (安塚小)

◆第3位 (小学3年の部) 松本莉緒 (安塚小)

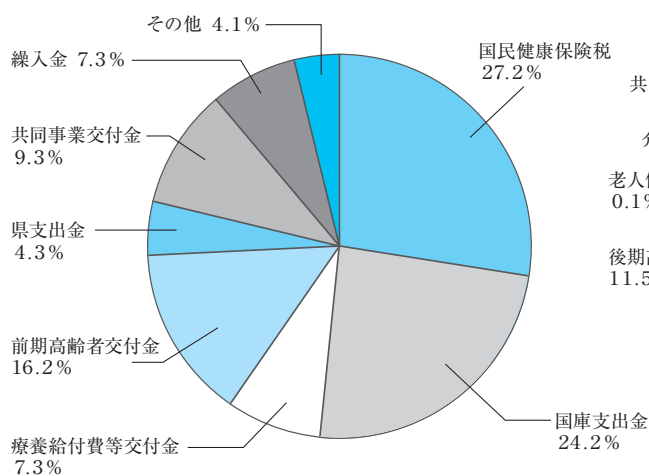
◆第3位 (小学2年の部) 川田賢佑 (安塚小)

国保だより

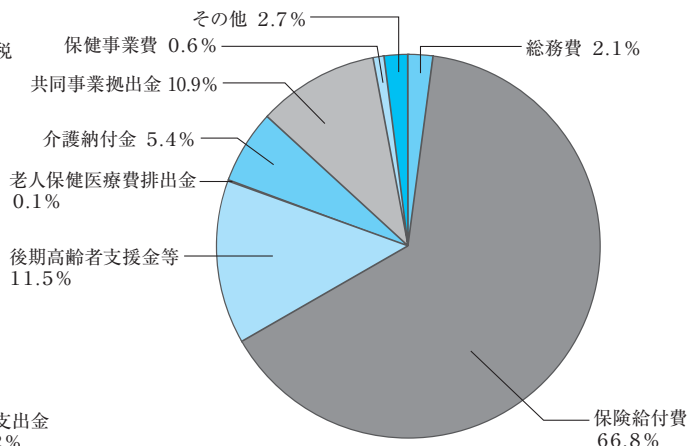


平成 22 年度壬生町国民健康保険特別会計の財政状況

歳 入



歳 出



	平成 22 年度決算額	対前年度比
歳 入	4,505,741千円	101.2%
歳 出	4,299,522千円	100.3%
差 引	206,219千円	

※平成23年度に繰越

	被保険者数	対前年度比	世帯数	対前年度比
加入状況	12,401人	98.9%	6,428世帯	100.1%

	1人当たり	対前年度比	1世帯当たり	対前年度比
保険税負担額	102,919円	95.4%	198,553円	94.2%
保険給付額	289,293円	102.1%	558,109円	100.9%

◎歳入・歳出の主な内容

歳 入

- 国民健康保険税・・・皆様が負担する保険料
- 国庫支出金・・・医療費等に対する国の負担分
- 療養給付費等交付金・・・退職被保険者等に対する交付金
- 前期高齢者交付金・・・65～74歳の方の医療費に対する交付金
- 県支出金・・・医療費等に対する県の負担分
- 共同事業交付金・・・高額な医療費等に対する交付金
- 繰入金・・・一般会計から国保会計への繰入金

歳 出

- 総 務 費・・・職員給与費・レセプト審査料等
- 保険給付費・・・療養給付費・高額療養費等
- 後期高齢者支援金・・・後期高齢者医療費に対する支援金
- 老人保健医療費拠出金・・・老人保健医療費に対する拠出金
- 介護納付金・・・40～64歳の被保険者の介護納付金
- 共同事業拠出金・・・高額医療費共同事業拠出金等
- 保健事業費・・・特定健診・人間ドック助成金等

国民健康保険の 喪失手続きをしてください!!



～支払う必要のない国民健康保険税を支払っていませんか?～

国民健康保険に加入していた方が、職場の社会保険に加入された場合、14日以内に町役場に国民健康保険の喪失の届出をしていただくことになっております。(自動的に国民健康保険の資格は喪失しません)

喪失の届出をしていただかない限り、職場の社会保険と町の国民健康保険に二重に加入することになり、社会保険の保険料を支払いながら、国民健康保険税も支払わなければならない、本来なら支払う必要のない国民健康保険税がいつまでも課税され続けることになってしまいます。



現在、職場の社会保険に加入し、職場から保険証が交付されているのに、町の国民健康保険証も交付されている方は、国民健康保険の喪失の手続きがされていませんので、下記のものを持参し、役場町民生活課窓口もしくは各出張所において、すみやかに国民健康保険の喪失手続きをしてください。

◎ご持参いただくもの

①加入した社会保険証 ②国民健康保険証 ③印鑑

★社会保険に加入した場合や他市区町村へ転出した場合等、本来なら壬生町国民健康保険の資格がないにもかかわらず、医療機関等で壬生町国民健康保険証を使用することは絶対にしないでください。

★社会保険を喪失した場合にも、すみやかに国民健康保険加入の手続きをしてください。

◎問合せ先

●町民生部保険環境課国保医療係

☎81-1836

国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付額証明等について

確定申告をされる場合、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書は、社会保険料控除の控除額を確認するための大切な資料となりますので、紛失しないようにしてください。

口座振替で納付されている方は、1月下旬に控除の証明となる口座振替済通知書を送付する予定です。また、口座振替で一括納付された方は、本年8月末に送付しております。

領収書等を紛失された場合は、納付額証明書を発行いたしますので、運転免許証等の本人確認ができる書類をお持ちのうえ、町税務課収税係までお越しください。

また、年金から国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を天引きされている方については、日本年金機構より送付される年金の源泉徴収票の社会保険料の欄に納付額が記載されていますので、参照してください。(源泉徴収票は、確定申告等で必要となりますので紛失しないようにしてください。)

◎問合せ先

●町総務部税務課収税係

☎81-1816

便利で安全! 身分証明書には 住基カードが最適です



顔写真付きの身分証明書をお持ちでない方（運転免許証をお持ちでない方や、高齢等により運転免許証を返納した方など）は、役場窓口での住民票や戸籍謄（抄）本の請求や、銀行等での口座開設や現金振込みの際に本人確認ができないためにご不便が生じております。このような場合『写真付きの住基カード』は身分証明書として公的に認められており、お持ちになると大変便利です。

壬生町に住民登録のある方であれば、どなたでも役場町民生活課でお取りいただけますので、ぜひご利用ください。

住基カードの交付申請については、下記のとおりです。

- 受付時間 月曜日～金曜日（祝祭日、12月29日～1月3日を除く）の午前9時～午後4時30分
※手続きに30分ほど時間がかかります。
- 受付場所 壬生町役場 民生部 町民生活課
- 交付手数料 500円
- カードの有効期限 発行日より10年間
（町外へ転出した場合を除く）
- 申請に必要なもの 印鑑、本人確認書類



※写真は受付窓口で無料にて撮影いたしますが、ご自身で写真をお持ちいただく場合は、パスポート用の写真（4.5cm×3.5cmで6か月以内に撮影した正面・無帽・無背景のもの）をご用意ください。

※本人確認書類として、「健康保険証」と、もう1点お名前等が確認できるもの（例：年金手帳、預金通帳、診察券、キャッシュカード等）をご提示いただきます。

申請後、ご自宅へ「照会書（回答書）」を郵送いたしますので、回答書と本人確認書類を持って再度ご来庁いただいてのカード引渡しとなります。

ただし、申請時に以下のいずれかを提示できる方に限り、その場でカードをお渡しできます。

- 運転免許証 ○身体障がい者手帳 ○パスポート
- 療育手帳 ○精神障がい者保健福祉手帳

※原則として代理人による申請はお受けできません。

※その他詳細につきましては下記までお問い合わせください。

問合せ先

町民生部町民生活課 ☎81-1824

公的個人認証サービスに伴う 電子証明書を 発行しております



公的個人認証サービスとは、本人であることを証明する電子証明書を住民基本台帳カード内に記録することにより、インターネットを使った電子申請や届出を行う際に、他人による「なりすまし」や通信途中での申請内容の「改ざん」などを防ぐためのサービスです。

申請については、下記のとおりです。

- 申請できる方 壬生町に住民登録をしている方（15歳以上）
- 申請に必要なもの
 - 住民基本台帳カード
 - 本人確認書類（運転免許証・パスポート等官公署が発行した顔写真付き身分証明書）有効期限切れのもの、住所や氏名が未変更の免許証など申請書の内容と異なるものは本人確認書類として使えません。
- 有効期限 発行日より3年間（内容変更があった場合を除く）
- 手数料 500円
- 受付場所 壬生町役場 民生部 町民生活課
- 受付時間 月～金曜日（祝祭日、12月29日～1月3日を除く）
午前9時～午後4時30分
※手続きに30分ほど時間がかかります。
- その他 電子証明書を使用するには、インターネットの利用可能なパソコンとICカードリーダライタが必要になります。
代理人が申請する場合は、提出書類等申請方法が異なりますので、詳細につきましては、お問い合わせください。

※電子証明書を取得することにより、e-Tax（国税電子申告・納税システム）を利用することができます。
e-Taxについての詳細は、国税庁のホームページをご覧ください。

国税庁ホームページアドレス <http://www.e-tax.nta.go.jp>

問合せ先

町民生部町民生活課 ☎81-1824

町政懇談会

10月28日、壬生中央公民館において、町自治会連合会（布施木善作会長）主催による、「平成23年度町政懇談会」が開催されました。

懇談会には、各自治会長さん、町から町長、副町長、教育長、総務・民生・経済・建設・上下水道部の各部長、教育次長、会計管理者が出席しました。

小菅町長からは行財政運営の状況等について説明がありました。事前に各自治会から提出された意見・要望について担当部長から回答のあと質疑応答があり、活発な意見交換が行われました。



主な意見要望

- ・道路整備・信号機設置について
- ・上下水道整備について
- ・ゴミ処理について
- ・放射線測定について
- ・災害時の対応について

壬生聖地公園募集案内

町では、お墓を必要とされる皆様に、下記のとおり墓所区画の公募をいたします。

1 申込手續について

- 受付期間
平成24年1月11日(水)～20日(金)(土・日・祝日を除く)
- 受付時間
午前8時30分～12時 午後1時～5時
- 受付場所
壬生町役場 保険環境課

2 墓園の名称及び所在地

壬生聖地公園
壬生町大字国谷字明城2370番地

3 公募区画数

63基
(B8-8-1～B8-10-22)

4 永代使用料等

永代使用料 280,000円
共同施設管理手数料 2,400円(年間)※
◎分割納付はできませんのでご了承ください。
※年度の途中からご使用される場合は、月割りにより納付していただきます。
今回の公募については、400円の納付となる予定です。
次年度からは2,400円となります。

5 申込資格

次の全てに該当することが必要です。

- ①申込者本人が申込日以前1年以上前から継続して壬生町に住民登録があること
- ②お墓を所有していないこと

6 申込方法

「墓園使用許可申請書」の必要事項に記入、押印し必要書類を添えて提出してください。

1世帯につき1区画の申込みとなります。1区画は、4.5㎡(間口1.8m、奥行き2.5m)です。

また、ご提出いただきました書類等は、抽選で漏れた場合や申込辞退等により、墓園の使用許可がおりない

場合にも返却できませんのでご了承ください。

申請書は、役場保険環境課で配布しています。

○添付書類

住民票の写し(提出日前1ヶ月以内に発行されたもので、本籍・続柄が記載された世帯全員のもの。)

7 墓園の決定

申込み順に審査し、B8-8-1から区画を決定していきます。予定区画数を超えた場合は、抽せんにより決定する場合もございます。

また、区画の変更はできませんのでご了承ください。

許可日は、平成24年2月1日の予定です。

8 永代使用料等の納入方法

平成24年2月3日(金)に永代使用料と共同施設管理手数料の納入通知書を郵送しますので、2月16日(木)までに最寄りの指定金融機関で納入してください。

また、納期限までに納入の確認ができない場合には、墓園使用許可を取り消す場合があります。

9 墓園使用許可証の交付

永代使用料と共同施設管理手数料の納入が確認できた方から、順次郵送いたします。

10 墓園の使用について

墓園使用許可証を受け取った日からご使用になれます。

墓園の工事や諸届出については、「墓園のご案内」をご参照ください。

11 その他

墓園の使用許可の特例として、現在埋蔵されていない遺骨をお持ちの方に対しては、随時受付し、使用許可をしておりますのでお問い合わせください。別途、必要になる書類があります。

12 問合せ先

町民生部保険環境課環境保全係
☎81-1834

不法投棄防止のために 廃棄物・土砂等埋立監視員によるパトロールを実施しています

町では、あとを絶たない不法投棄を未然に防止するため、田村 佳氏(壬生町下稲葉)を廃棄物・土砂等埋立監視員に委嘱し、監視パトロールを実施しています。

良好な生活環境を保全するためには、町による監視パトロールのほかに、土地の所有者が自らの土地を適切に管理し、不法投棄を防止するしかありません。不法投棄されて、不法投棄の行為者がわからないときは、土地の所有者が自ら片付けることになる場合もあるからです。

大量の廃棄物が不法投棄された土地を原状回復するには、時間も費用もかかります。廃棄物の不法投棄に気づいたら、早めに警察にご相談ください。

不法投棄されないためのポイント

- ①土地を貸すときは、相手方や事業内容をきちんと調査しましょう。
- ②こまめに草刈をし、見通しのきくきれいな状態にしておきましょう。
- ③廃棄物を捨てられたら、次の廃棄物を呼ばないようにすぐに片付けましょう。
- ④自己の所有地に柵をつくったり、入口に鍵を掛けたりして、進入されにくい環境を作りましょう。
- ⑤定期的に見回りをするなど、常に所有地の状況を把握しておきましょう。



道路・水路等で回収された不法投棄

○不法投棄の情報・問合せ先

- 小山環境管理事務所
環境対策課
☎0285-22-4309
- 町民生部 保険環境課
環境保全係
☎81-1834

平成24年

平成24年
2月1日
(水)

経済センサス 活動調査

「経済の国税調査」です。
全国すべての企業・
すべての事業所が対象です。

調査票は平成24年1月末日までにお届けします。
2月1日以降に提出をお願いします。

■この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、
調査票に記入して提出する義務があります。

■提出された内容は統計作成の目的以外（税の資料
など）には、絶対に使用しません。

経済センサス

検索

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

◆調査の目的

この調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の状況を全国的及び地域別に明らかにするとともに、各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的としています。



◆調査の期日

平成24年2月1日現在で実施します。

◆調査事項

経営組織、事業所の開設時期、従業者数、事業所の主な事業の内容、売上及び費用の金額、事業別売上金額などを記入していただきます。



◆この調査は報告の義務があります

「統計法」では、基幹統計調査を受ける人には報告の義務を、また、調査を実施する関係者には調査によって知ったことを他に漏らしてはならない義務を規定しています。さらに、これに違反したときには罰則が定められています。

■壬生町役場商工観光課統計係

☎81-1846

記入の仕方についてのお問い合わせは、
コールセンターまで!!



経済センサスキャラクター

経済センサス・活動調査コールセンター

【受付時間】 午前9時～午後9時（12/29～1/3を除き土・日・祝日もご利用になれます）

【電 話】 0120-44-1034（通話料は無料です）

【IP 電 話】 03-6830-1034（有料）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

「全日本交通安全協会長表彰」、「栃木県警察本部長・栃木県交通安全協会長表彰」表彰式が行われました

10月26日、宇都宮市文化会館で行われた表彰式において、壬生町から交通安全功労者・交通安全功労団体、優良運転者（40年・30年）の皆様が表彰を受けました。なお、交通安全功労団体57団体を代表して、栃木地区交通安全協会壬生支部女性部会長の高山祐子さんが壇上で表彰状を受け取りました。

この交通安全功労表彰は、長年にわたり交通安全活動の推進に献身的な尽力をし、交通道德の普及高揚に功績のあった個人・団体に、また優良運転者表彰は常に安全運転に努め、他の運転者の模範と認められる個人に贈られるもので、今年は次の方々が受賞されました。

◎全日本交通安全協会長表彰（敬称略）

交通栄誉章「緑十字銅章」 大友達示 大橋良平

◎栃木県警察本部長・栃木県交通安全協会長表彰（敬称略）

交通安全功労者 大西良雄 岩崎静江 鈴木千代子

交通安全功労団体 栃木地区交通安全協会壬生支部女性部会
(会長 高山祐子)

○優良運転者（40年）

小林丈夫	伊藤幸男	熊倉英吉	遠山忍	長恵子	村上金吾
村上千子	清水勝一郎	牧内勝男	針ヶ谷武弘	青木忠夫	黒川正夫
田中益位	田中加代子	阿久津武	野澤利貴	小林昭男	諸江安代

○優良運転者（30年）

城山恭子



篠原正明 半田賢二 半田光子

平成23年度栃木県更生保護事業関係者顕彰式

11月15日、宇都宮市文化会館において、栃木県下の更生保護事業関係者及び民間協力者の功績をたたえ、更生保護事業関係者の士気の高揚と更生保護事業の一層の進展を期して、栃木県更生保護事業関係者顕彰式が開催されました。

当町では橋本木三郎さんが法務大臣表彰、神長伸さんが全国保護司連盟会長表彰を受けました。

保護司の方々は、犯罪や非行に陥った人の更生を支援するため、指導、生活相談など社会復帰への手助けとなる活動をされたことが評価され表彰を受けました。また、更生保護女性会員の方々には、「社会を明るくする運動」などの更生保護活動が評価され感謝状が送られました。

関東地方更生保護委員会委員長表彰	大関和夫
栃木県知事感謝状	小倉武
宇都宮保護観察所長表彰	網野好子
宇都宮保護観察所長感謝状	大場フサ子 若井洋子
栃木県保護司会連合会会長表彰	荒川克己 黒川幸子
	錦織雅司 森田純市（敬称略）



左から神長さん、橋本さん

栃木県統計大会

11月15日、栃木県総合文化センターにおいて、第49回栃木県統計大会が開催され、篠原富太郎さん、新井清さんが総務大臣表彰、塚本一美さんが栃木県統計協会名誉会長表彰を受賞されました。

それぞれ各種統計調査に従事され、統計調査の発展・推進に多大なる貢献をされています。



左から篠原さん、塚本さん



ねんりんピック 2011 で入賞!!

10月15日から18日にかけてねんりんピック2011 熊本(第24回全国健康福祉祭くまもと大会)が開催され、栃木県からは16種目に127名の選手が出場しました。

将棋交流大会では、本町から出場した飯村友仁選手(壬生丁在住)が優秀な成績で見事3位に入賞し、その報告に町長室を訪れました。入賞者には大会実行委員会からメダルと賞状が授与されました。本町からは他に、児玉牧子選手(壬生丁在住)がマラソン交流大会に出場しました。

なお、平成26年秋には栃木県においても開催されます。

よい食生活をすすめるためのグループ講習会

10月15日、壬生町食生活改善推進員は、独協医科大学1年生10名を対象に講習会を開催しました。

大学生のみなさんは、朝食をしっかりと摂ることや減塩について聴講した後、グループごとに調理実習をしました。メニューは、鶏肉とえびのリゾット、かんたん洋風おから、コーヒーゼリーの3品です。

今回の講習会では、やがて医療分野で活躍する若い人たちが、「医食同源～食は医なり～」という視点から、まず自身の食生活を見直すよい機会となりました。



バーベキューで地域交流

10月29日、国谷中央自治会では、バーベキュー交流大会を開催しました。朝から汗ばむような陽気で、早々と集まり準備に取りかかりました。子どもたちからお肉や野菜のオーダーが入ると、焼く係のお兄さんが汗だくで頑張ってくれました。お年寄りの方々も「みんなで食べるとおいしいね。」と大喜びでした。

お腹がいっぱいになった後は、みんなでじゃんけんや風船バスケットを行い、地域の交流を深めました。



地域話題を見るなら ケーブルテレビ ◆ コミュニティチャンネル デジタル111ch アナログ9ch ◆

2012年春 いよいよ開局予定!!

安塚、北小林、福和田、国谷、藤井、壬生甲、下稲葉、上稲葉、壬生乙、羽生田、セツ石

※それぞれ一部地域です。詳しくはお問い合わせください。

栃木ケーブルテレビ

■ 成人式特集(壬生町)

撮影:1/8(日) 壬生中央公民館

放送:1/23(月)~29(日)

9時/13時/17時/21時のいずれか

※ 詳しくは ホームページ、
番組ガイド1月号をご覧ください。

成人式ダビング(1会場) 3,150円

電話 050-5535-5655





ふれあい農園収穫祭

10月29日、秋晴れのもと、ふれあい農園収穫祭が行われ、児童館に通う2〜3歳児親子23組と壬生町母親クラブ（小林美奈子会長）の親子がさつまいも掘りに挑戦しました。また、児童館職員の指導でさつまいもの蔓をクリスマスリースに加工しました。

その後は、母親クラブが調理してくれたさつまいものすいとん汁や揚げたてのてんぷらをいただき、「いつもは食べない野菜も子どもがすすんで食べています。」と驚くママも。日頃は忙しいパパも子どもと食育・農業体験を楽しむことができました。

ワンワン防災フェスティバル

10月30日、睦小学校において、六美町北部自治会ワンワン防災会（石島松夫会長）による「ワンワン防災フェスティバル」が開催され、約450名の会員が参加しました。

石橋地区消防組合・壬生町消防団の協力もあり、「自分の身は自分で守ろう」と初期消火訓練、天ぷら油火災消火訓練、AED操作体験、煙体験、救助体験綱渡り、また、昨年町から借り受けた担架などの資機材を使った救出救助訓練が行われ、会員が一致団結し防災意識をさらに高め、絆を深めることができました。



孔子と論語とその思想

10月30日、睦地区コミュニティ推進協議会による第18回文化祭が開催されました。一般作品・児童作品・一筆啓上などの出展数は例年よりはるかに多く、恒例の模擬店や初めての子どもコーナーも用意され、楽しい一日を過ごしました。

また、史跡足利学校論語素読運営委員長の須永美知夫先生をお招きし、『孔子と論語とその思想』と題してお話をいただきました。参加者からは「孔子の教えは、東日本大震災の被災者への思いやりや、絆の大切さにも通ずるものだと思う。」との声が聞かれました。

よいそう手つながる心

社会福祉法人 関 記念 栃の木会

介護老人福祉施設 しもつけ荘 ☎0282-86-0177
介護老人保健施設 みなと荘 ☎0282-86-3710
認知症老人グループホーム うらら ☎0282-86-8600
〒321-0207 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林812

介護老人福祉施設 いしばし ☎0285-52-1487
〒329-0502 栃木県下野市下古山1174
認知症老人グループホーム いしばし ☎0285-53-8866
〒329-0501 栃木県下野市上古山569-1



見学・ご相談などお気軽に
お問い合わせ下さい。

看・介護職員募集

栃木県の第1号老健が4月に生まれ変わります！

● ● ● みなと荘 ● ● ●



- オール電化・モダンな建物
- デイケア → デイケアセンター（30名）
- 国学療法士によるリハビリ



芋煮会で深まる秋を満喫

11月13日、NPO 夢くらぶむつみと六美町南部育成会は合同で、恒例の芋煮会を開催しました。地元でとれた野菜を使用した“芋煮”や、会員から差し入れられたお赤飯をいただき、深まる秋を堪能しました。子ども達は“紙飛行機づくり”やドングリを使用した“やじろべいづくり”等の工作に熱心に取り組んでいました。

また、六美地区は戦争中飛行場で、戦後そこに開拓で入植した方も多く、この日はそのような方々も参加されました。久しぶりの再会で、懐かしく当時は振り返り、楽しい一日を過ごしました。

秋も稲葉は花いっぱい

11月15日、稲葉地区公民館周辺花壇管理組合(代表神長キヨさん)と下町南花壇管理組合(代表三上貞次さん)では、下町自治会(佐藤慶一会長)にご協力いただき、地域をきれいにしたいという思いから、春に引き続き植栽活動が行われました。

近隣のいなば保育園児も参加して、公民館の花壇や国道352号沿いの植栽帯を清掃。更にパンジーやビオラ約600株を、地域を明るくしてくださいという願いを込めて一株一株丁寧に植えました。花植えを通じて、地域のコミュニケーションの輪が広がっていました。



読み聞かせボランティア交流会

11月17日、「壬生町読み聞かせボランティア交流会」が壬生中央公民館で開催されました。これは、町内の読み聞かせボランティア同士のつながりづくりを目的として、今年度初めて行われ、学校・図書館等で、子どもたちに向けた読み聞かせボランティア活動を行っている(又は興味・関心のある)方々 36名が集合。心地よい音楽の流れるリラックスした雰囲気の中、意見や情報を交換し合い交流を深めました。

参加者からは、「ボランティア活動に対する色々な意見を聴くことができて参考になった。」などの感想が寄せられました。



墓石・石工事
修理承ります

造園土木
草刈・伐採
スズメバチ駆除



聖地公園、他
完成価格65万円～



お墓ディレクターにご相談下さい

(株)県南環境 TEL 82-6700

大師町25-5/展示場：小金井駅東

《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

- 壬生町水道施設維持管理業務
- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務
- 農業集落排水処理施設各処理場巡回管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比寿OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-1-32-102

「ボタニカルアート教室」作品展が開催されました

会 期 平成23年10月25日(火)～11月11日(金)
 展示場所 生涯学習館ロビー

平成23年度生涯学習館前期講座で開講した「ボタニカルアート教室」の生徒さんによる初めての作品達が額装され、「展覧会出品作」として生まれ変わりました。

講師の安田豊治先生^{やすだ とよはる}の熱の入った指導のもと、絵画初心者の生徒さん達が10回コースの講座の中でめきめきと上達した作品を展示した展覧会は、ディスプレイにも趣向を凝らし、小規模ながら見応えのあるものとなりました。

東小学校の先生方のご尽力により、児童の皆さんの課外授業としてもご協力をいただき、好評のうちに閉会となりました。



～ボタニカルアート豆知識～

中世ヨーロッパで植物の種類を見分けるための図鑑など、「植物学から起こった植物画」をボタニカルアートと呼ぶようになった。日本に伝わったのは江戸時代であると言われている。「植物学の父」と言われた牧野富太郎が本格的に植物分類学の基礎を築いた。

植物を精密に観察しながら描くことで、自然の造形美に気づいたり、季節の移り変わりを感じながら植物に対する知識が広がったりするのが魅力となり「癒しの絵画」とも呼ばれている。1991年には「日本植物画倶楽部」が発足し、毎年、全国巡回展等を行っている。

ひいらぎ集会

10月26日、安塚小学校において「ひいらぎ集会」が開催され、そば作り・科学遊び・バルーンアート・埴輪作り・パソコンによる動画の制作・フラワーアレンジング・スポーツチャンバラなど14個の中から、子どもたちが「やってみたい」活動を選び、体験しました。ボランティアの方々や地域の方々に教えていただきながら、上級生は下級生を気遣って活動することができました。



古代米収穫体験

10月28日、藤井小学校^{しのはら まさとし}で全校児童による古代米の収穫が行われました。これは、篠原正利さん(前宿坪)の田んぼをお借りして30年近く続けている行事で、今年も5月に田植えを行い、秋の収穫を楽しみにしていました。

子どもたちは、カエルやクモを見つけると歓声を上げ、「とても楽しい」「毎年出来てうれしい」と楽しそうに話していました。



壬生中学校校歌

校歌特集「壬生中学校」

三	二	一
陽炎の 陽炎の 燃えて静かに 澄む心 遠く慈愛を 永久の世を われら思いて 誠持つ ひた励む日々 助け合い 白亜の母校 愛はみつ ああ 連帯の和の世界	黒川の 黒川の 流れはひびき 澄む瞳 男体山を 筑波嶺を われら仰ぎて 勇みゆく みどり増す日に 明日思い 白亜の母校 意気あがる ああ 剛健の道あらた	若草の 若草の 命かぐわし わく血潮 嘉陽が丘に 古城趾に われら別れて 手を結ぶ ひばり鳴く日に 夢そだち 白亜の母校 光みつ ああ 創造の新天地
作詞 生井 武司 作曲 飯田 隆		



旧壬生中学校校舎



旧稲葉中学校校舎



現在の壬生中学校校舎

- 学校創立 昭和56(1981)年 旧壬生中学校と旧稲葉中学校が統合
- 校歌制定 昭和57(1982)年
- 作詞者 生井武司氏は真岡女子高校、佐野女子高校、栃木高校校長を歴任。当時足工大附属高校校長。土家文明に師事し「アララギ」同人。歌詠「はしはみ」を主宰。歌集に「青山」「緑水」「北の窓」「円き虹」等。
- 作曲者 飯田隆氏は、当時宇都宮大学教授。作品にオペラ「真説カチカチ山」管弦楽曲「管弦楽入門」歌曲集「蛙」等。
- 校歌制定当時の生徒数 885人
- 現在の生徒数(H23.11.1) 560人

こんにちは！壬生町教育委員会です！

第20回

教育・文化・スポーツの振興に取り組む

みんなの広場



わが家のアイドル

今回は2月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締 切】1月20日

【必要事項】氏名(ふりがな)、保護者名、生年月日、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場企画財政課または稲葉・南犬飼出張所まで

【申 込 先】町総務部企画財政課 情報広報係

〒321-0292 壬生町通町12-22

Eメールアドレス info@town.mibu.tochigi.jp



おおぐり なこみ
大栗 和ちゃん(H21.12.25生)
(至宝町北)



たかやま ま な
高山 真愛ちゃん(H21.12.24生)
(幸町四丁目)



くめかわ はるおみ
桑川 陽臣ちゃん(H22.12.11生)
(上田)



こ もり たかひろ
小森 貴弘ちゃん(H19.12.3生)
(六美町中央)



いしはら ゆう き
石原 悠生ちゃん(H19.11.8生)
みず き
瑞樹ちゃん(H21.12.21生)
(安塚中央)



かし き ましろ
榎木 舞白ちゃん(H22.12.26生)
(上新町)



おおぐり いろ は
大栗 彩葉ちゃん(H20.9.18生)
はるちか
悠睦ちゃん(H22.12.17生)
(国谷新田)



おか べ ふう と
岡部 楓冬ちゃん(H22.12.10生)
(安塚中央)

歴史民俗資料館だより

第8回 『茶臼山古墳』 みぶの文化財コーナー

……栃木県内最大の円筒埴輪……

「茶臼山古墳」は、町の北部、羽生田地区の丘陵上に築かれた前方後円墳です。墳丘の全長は91mあり、その周囲をめぐる周溝(堀)と周堤(土塁)を含めると140mを上回る古墳となります。「茶臼山古墳」は、明治28年(1895)に発掘調査が行われて以来、調査がまったく実施されていない古墳です。また、その発掘調査の結果が、考古学の専門書において紹介されたことから、埴輪を狙った盗掘が横行する要因にもなりました。このため出土品は散逸または、埴輪や土器の一部分のみの出土となり全容がわからないのが現状です。

そんな中、盗掘後、現地に置き去りにされた円筒埴輪片を復元したところ、埴輪の外周に九条の突帯をもつ、高さ125cmの埴輪が復元できました。それまでは茶臼山古墳の東隣にある富士山古墳の円筒埴輪(七条突帯・109cm)が県内最大の円筒埴輪と考えられていましたが、今回の復元結果により茶臼山古墳の円筒埴輪が県内最大の円筒埴輪であることが判明しました。

明治年間の発掘調査状況からも円筒埴輪底部の大きさや家形埴輪(上屋根部のみ)の大きさからも、



▲「茶臼山古墳」出土円筒埴輪
高さ125cm

国内でも天皇陵クラスの古墳に匹敵するような埴輪群であることは推測されていました。

また円筒埴輪はその突帯の数により古墳への生前の被葬者の階級を表しているという研究者もいます。また九条と言う突帯の数も畿内では、天皇や大豪族クラスの古墳に立てられている円筒埴輪に匹敵するものです。

それでは、なぜ古代下毛野国の一地方の豪族が、このような壮大な円筒埴輪群をたてることができたのか、そして誰が、いずれの地で埴輪を焼いたのか、多くの謎があり、それと同時に茶臼山古墳の重要度も再認識され始めています。何よりも富士山古墳と茶臼山古墳の巨大な埴輪群を焼いた窯跡を探すが、多くのなぞを解く鍵になることは間違いないと思われます。

産業まつり

11月3日、町総合公園陸上競技場を会場に、「第29回壬生町総合産業まつり」が開催されました。

会場内は、壬生町特産のかんぴょうを使ったかみなり汁の販売や東日本大震災の写真展示のほか、多くの出店・展示が立ち並び、ステージでは、ワンワンショーやチアリーディング、よさこい踊りが披露され、多くの観客でにぎわいました。また、たくさんの親子連れがミニSLやファファ、イワナのつかみどり、パトカー・消防車の展示などを楽しむ姿も見られました。

毎年恒例となった壬生町共通商品券の販売は、今年も朝早くから長蛇の列ができる大変な人気で、正午頃には売り切れとなりました。



みぶバンドフェスタ2011

11月6日、壬生中央公民館大ホールにおいて、「第2回みぶバンドフェスタ 2011」（主催：壬生ライオンズクラブ、後援：壬生町・壬生町教育委員会他）が開催されました。

壬生高等学校・南犬飼中学校・壬生中学校の吹奏楽部による演奏のあと、3校合同演奏も行われました。壬生町民の歌広報大使の松山美由紀さんの歌も披露され、「壬生町民の歌」では、来場者の歌声と共に会場が盛り上がりしました。また、開会式典では、中学生から募集した青少年健全育成標語の表彰も行われました。



表紙の写真
ゲストランナーに高橋尚子さんをお迎えして開催された第20回壬生町健康ロードレース記念大会。
高橋さんは参加者に声をかけながらエールを送り、大会を盛り上げてくれました。

1月の納税等	
●町県民税	(4期)
●国民健康保険税	(7期)
●介護保険料	(7期)
●後期高齢者医療保険料	(7期)
納期限	1月31日



絵画「いもほり」



羽生田小1年
鈴木 魅頼



羽生田小6年
別井 愛美

